平成13年11月 広報 Vol. 573

さめうら

11

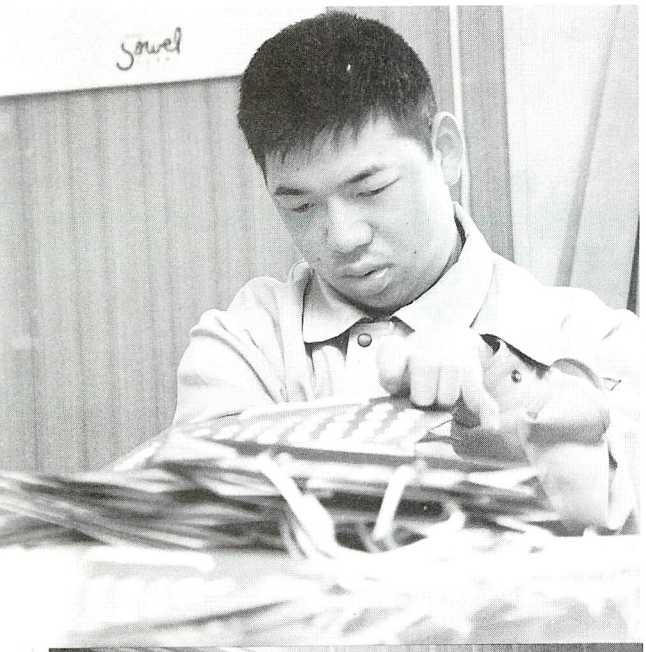
November 2001



特集◉知的障害者の自立を支える

地域（ここ）に、生（こ）きる。

障害を持つ人も平等に暮らせる社会づくりが
求められて久しくなります。
ところで私たちは、障害者について
どのくらい理解しているのでしょうか。
私たちの村には、知的障害者の授産施設があります。
鮫川たんぽぽの家です。
現在、同じような障害を持つ18人が、
地域社会での自立を目的に通っています。
今月は、鮫川たんぽぽの家の一日を紹介するとともに、
知的障害者を支える人々の思いに迫ってみました。







鮫川たんぽぽの家。そこには、社会参加と自立を目指し作業訓練に取り組むひたむきな姿があります

待望の通所施設誕生

十四年ぶりとなる平成十年四月、旧母子健康センターに新たな産声が上がりました。知的障害者授産施設「鮫川たんぽぽの家」の誕生です。

「村内に暮らす知的障害者の自立を支援する通所施設がほしい」。知的障害の子を持つ親たちの熱い思いが現実になったのです。

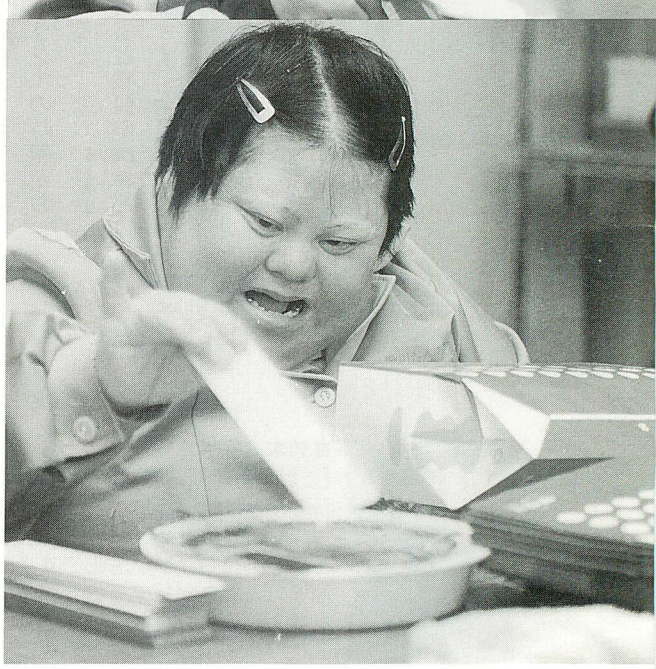
鮫川たんぽぽの家は、西白河郡西郷村にある社会福祉法人甲子の里福祉会（佐藤一巳理事長）が運営する「甲子の里希望の家」の分場として開所。知的障害というハンディキャップを背負うがために一般社会での就労が困難な人たちが、社会人・職業人として自立するための訓練を行っています。

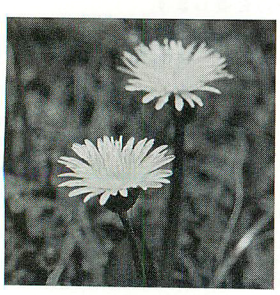
「鮫川たんぽぽの家」。この名称は、石井草字大根屋敷の萩原實さん・初枝さん夫妻が考えました。「障害を持っていても一人の社会人として、たんぽぽのように根強く、たくましく生きてほしい」。そんな願いが込められています。

※以下、本文中「鮫川たんぽぽの家」を「たんぽぽの家」に略します。









たんぽぽのように根強く、そしてたくましく。

たんぽぽの家の一日を追う。そして、現場の声を聞く

■たんぽぽの家の一日

社会参加と自立への挑戦

人々が足早に職場へと急ぐころ、たんぽぽの家の利用者もまた、自分の「職場」へと向かいます。徒歩、自転車、路線バス、幼稚園の送迎バス同乗、家族の送迎と、通所方法はさまざまです。

出勤簿に印鑑を押すと、全員が作業室に集まってきます。「おはようございます」。澄んだ声が室内に響きわたります。

午前八時三十分、ラジオ体操と朝礼。たんぽぽの家の一日の始まりです。朝礼では、その日に行う作業内容や身近な話題などを援助員が優しく語りかけます。作業前の大切な時間です。

作業が始まると、みんな真剣な表情に変わります。企業の仕事を請け負う「下請作業」を中心に、公園の清掃などの「委託作業」、農耕作業やアルミ缶回収などの「自主作業」があり、それぞれの能力に応じて作業を分担します。■



作業は黙々と続きます。「仕事は楽しいですか」と尋ねると、笑顔とともに「楽しい」の一言が返ってきます。休み時間になっても、作業の手を休めようとする人はいません。休み時間はそれぞれに自分の時間を過ごしますが、作業が気になるのか、どうも落ち着かない様子です。

作業室に流れるラジオの時報がお昼の十二時を告げると、楽しい昼食の時間です。利用者と職員が次々と食堂に集まってきます。全員そろっての食事です。食堂からは、和やかな笑い声が響いてきます。まるで、食卓を囲む家族のような雰囲気さえ感じます。

午後一時、援助員の「さあ、始め

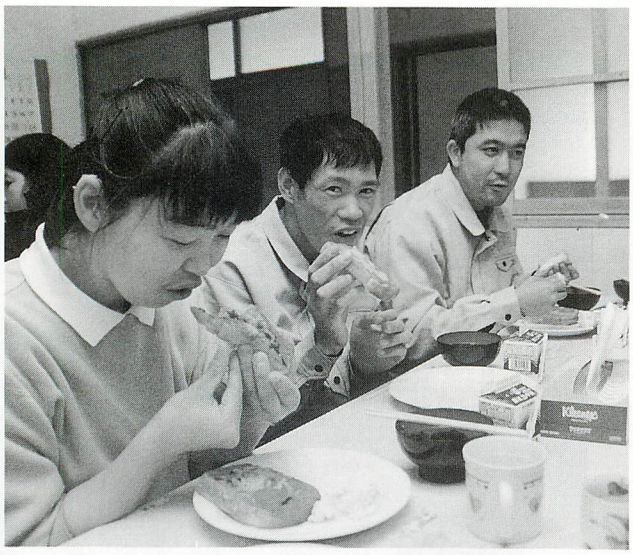


細かい作業は集中力を要します



■鈴木　保さん
【赤坂中野字新宿在住・72歳】
私の家とは隣近所ですよ、たんぽぽの家は。
「おはようございます」と元気にあいさつされると、
とても気持ちがいいものですよ。
地域の人たちと接する機会が多くなった分、
表情も明るくなったんじゃないかな。
これからも頑張ってね、応援してるよ。

昼食は楽しいひととき





現在の作業は紙袋製作が中心



作業に取り組むまなざしはとても真剣。こうして少しずつ仕事を覚えていきます

るよ」の一言で再び作業が始まります。途中、十五分間の休息時間をはさんで、午後四時まで作業が続けられます。作業が終わると全員で掃除を済ませ、終礼を迎えます。こうして、たんぽぽの家の一日が過ぎていきます。

作業訓練以外にも、学習支援（文字の読み書きなど）や生活支援（社会生活のルールなど）、買い物訓練なども定期的に行われます。こうした訓練を繰り返すことで、社会人としての自覚を少しずつ身につけていくのです。

■

たんぽぽの家の利用者の多くは、以前は在宅で生活していました。そのため、人と接することが極端に少なく、また、能力を発揮する機会もありませんでした。

でも、今は違います。同じ目標を持つたくさんの仲間がいます。働く喜びを知りました。地域とのかかわりも生まれてきました。

そして、社会参加と自立という目標がある限り、彼らの挑戦はこれからも続きます。



■お弁当あじもり　関根由美子さん
【赤坂西野字荻ノ沢在住・44歳】
開所当初からお弁当の配達をしています。
以前から比べると目の輝きが増して、
いきいきとしてきたように感じます。
仕事のことやいろんな出来事を私に教えてくれるんです。
自己主張ができるようになってきましたね。
みんな素直で純粋な人たちですよ。

■現場の声

彼らのために、彼らと共に

知的障害者の自立を支援するために、親身になって指導を続ける職員。どのような思いで彼らに接しているのでしょうか。小野崎施設長ほか援助員四人、事務員一人、それぞれに話を伺いました。

■飛躍…たんぽぽの家が開設して三年七カ月が過ぎました。利用者も地域住民の一人としての自覚や将来の希望が出てきたようです。働きに来ているという意識や責任、他者に対する思いやりも徐々に身について、社会性が生まれてきたようです。また、地域の方々の彼らに対する見方も変わったのではないでしょうか。これは大きな飛躍です。これからは分場ではなく、社会福祉法人認可の取得を目指し、たんぽぽの家、そして鮫川村が東白川郡内の福祉の拠点となることを願っています。

（小野崎秀夫施設長）

■同じ屋根の下…私たちは、同じ屋根の下で教える側と教えられる側とで、作業を通して生活しています。確かに作業などについては職員として支援していますが、人間性に関してはどうでしょうか。黙々と作業をしているその後ろ姿に、思わずドキッとすることがあります。自分は支援しているのだろうか。逆に、彼らのまじめでひたむきな心に支援されているのではな



黙々と続く作業



「これはいったい何だろう」（農作業で）



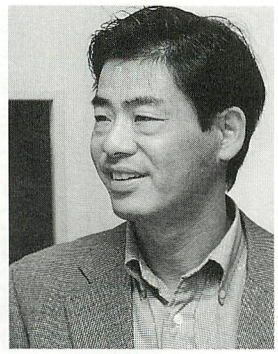
何度も繰り返し指導する援助員



■鮫川幼稚園　菊地朋子教頭
【渡瀬字下在住・49歳】
たんぽぽの家の５人が幼稚園の送迎バスを利用しています。
決して特別扱いはしませんが、障害を持っているということも踏まえなければなりません。
その日の表情で体調がわかりますので、
ちょっとしたことでも言葉をかけるようにしています。
地域の一員として力になりたいですね。

地域（ここ）に、生きる。

特集 ◉知的障害者の自立を支える

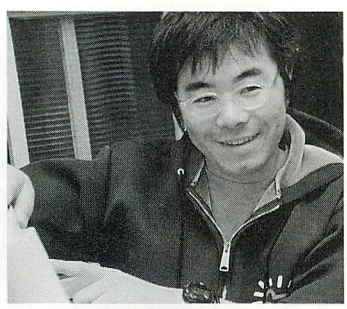

小野崎秀夫施設長


白岩八重子主任援助員


江尻勝己援助員


矢吹祐枝援助員


鈴木桃子援助員


近藤英樹事務員

■**勤勉**…私は以前、生産業の仕事に携わっていました。作業面では共通点もあったのですが、利用者たちがなかなか仕事を覚えないときなど、悩むこともありました。しかし、彼らは仕事ができないのではなく、できるようになるまでに多少時間がかかるだけなのです。また、彼らはとても勤勉で、ほとんど休まずに出勤します。そんな彼らですから、将来、就職できることを願い支援する日々です。

（江尻勝己援助員）

■**坂道**…今、私が勤めている所、それは私が生まれた場所（旧母子健康センター）です。鮫川村で生まれ、この地に育ち、そして今、母の登った坂道を日々歩いていきます。ここに通所している彼らもまた、同じ坂道を一歩一歩踏みしめながら登ってきます。利用者を支援しつつ、彼らのいきいきとした姿に勇気づけられ、共に地域での社会参加を目指し、明日も冷たい手をこすりながら、この坂道を登ります。

（矢吹祐枝援助員）

■**普通のこと**…私は、九年前まで横須賀に住んでいました。周りにはいつも障害者がいたので、一緒に過ごすことに違和感を持ったことはありません。むしろ、それが普通だと思っていました。そんな子ども時代を過ごせたことは、幸せだったと思います。世の中にはいろんな人がいるのは普通のことです。地域の支えでだれもが普通に、気持ちよく暮らせる社会って素敵だと思います。（鈴木桃子援助員）

■**お給料**…「給料が上がった」。そんな利用者の声を聞くと、こちらもうれしくなる反面、気が引き締まる思いがします。利用者の給料は、彼らが働いた収益から材料などの経費を差し引いた分、すべて配分されています。時給にしてわずか数十円。厳しいことですが、これが現状です。働くことで得られる喜び、その報酬が彼らの生活の糧となる日が来ることを願っています。

（近藤英樹事務員）



■鮫川ハーネス㈱　坂本　実さん
【富田字鍬木田在住・26歳】
今年の７月から仕事を請け負ってもらっています。
弱電配線という細かい作業ですが、
だいぶ慣れてきたようですね。
時々作業の様子を見ますが、
仕事に取り組む姿勢は健常者と変わりませんよ。
自分の仕事に対する責任感が強いようです。

笑顔の向こうに明日の希望（ひかり）が…。

知的障害の子を持つ親の思い…。舟木久さんに聞く

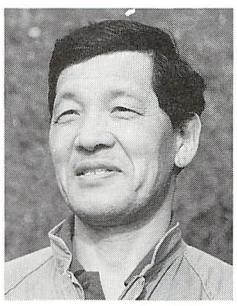
長男誕生。つかの間の喜び

昭和五十五年二月二十九日、私たち夫婦に待望の長男・久人が誕生しました。生まれたときは何の異常もなく、家庭内は大きな喜びに包まれていました。

そんな喜びもつかの間、生後六カ月で腸重積症という病気にかかり腸の一部を切除。三歳児健診で心雑音が見つかり、心房中隔欠損症という診断が下されました。

そして、私たちの生活を大きく変えたのは久人が四歳のころ。それまでほとんど休むことなく通っていた保育所を、体の不調を訴えて休むことになりました。突然の高熱に見舞われたのです。

緊急入院。一週間が過ぎても熱は下がりませんでした。検査の結果、脳内に出血が認められ、脳動脈瘤（りゅう）と診断されました。その後、専門の病院に移送され、脳の切開手術を余儀なくされました。手術は無事成功しましたが、左上下肢の麻痺、そして脳の発達に障害が残り、身体と知的の重複障害という体になってしまったのです。



舟木　久さん
赤坂西野字岡田在住・51歳

やっぱり家族と一緒がいい

久人は、小・中学校と特殊学級で学びました。そして、いわき市にある県立平養護学校高等部へと進学。三年間の寄宿舎生活を送りましたが、自宅を離れての生活には慣れませんでした。月に二回の帰宅が何よりも楽しみだったようです。家族と一緒に生活したい――そんな思いが久人にはあったのです。

幸運にも、卒業と同時に「鮫川たんぽぽの家」が開所しました。「家から通えるぞ」。久人はもちろん、家族みんなで喜びました。

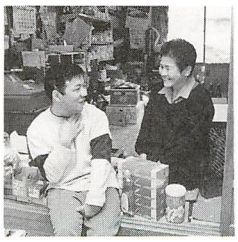
久人は今、村営バスに乗って仕事に通っています。久人なりに、自分の仕事に対する責任を持っているようです。「仕事が楽しい」と言って、毎日うれしそうに出かけていきます。



家族一緒の時間を大切にする舟木さん一家

十円玉一つの大きな価値

つい先月、久人の給料が時給で十円上がりました。二十五円から三十

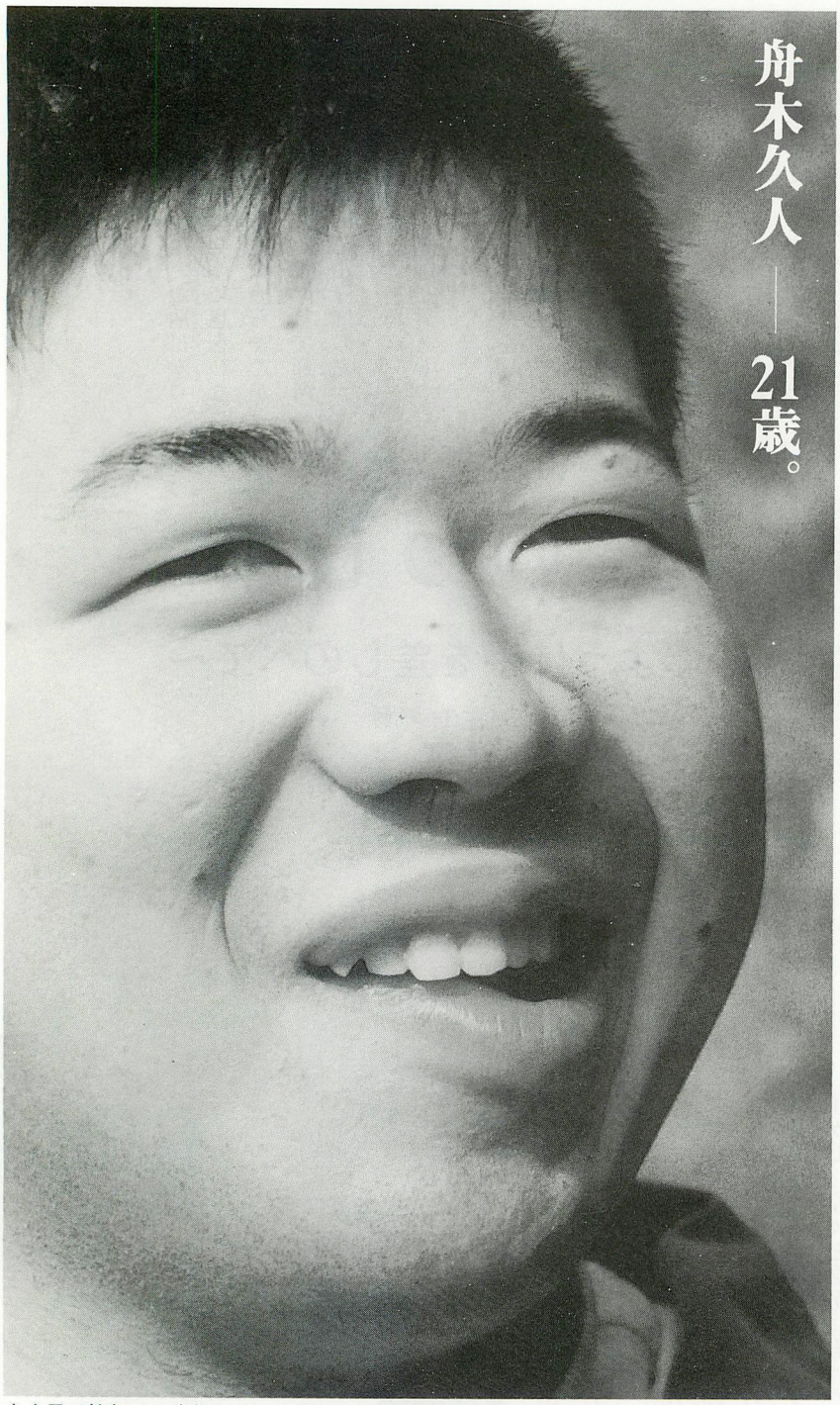


■舟木商店　舟木キイ子さん
【赤坂西野字石ノ花在住・62歳】
久人君はとても几帳面ですよ。
不足している日用品を自分でチェックして、
休みになると店まで歩いて買いに来るんです。
金銭的にもしっかりしていて、
必要な物を必要な分しか買いません。
久人君が来てくれるのを、いつも楽しみにしています。

五円になったのです。久人は給料明細書を握り締めながら、満面の笑みを浮かべて帰ってきました。

一般的な感覚では、本当にささやかな給料かも知れません。でも、久人にとっては何十倍、いや、それ以上の価値があります。一生懸命に取り組んだ結果だからです。

私自身、久人に教えられました。何事も、頑張った分だけ結果として表れるということを。



久人君の笑顔は、家族みんなの励みになります

将来の不安。親たちの本音

久人は、一人で生活することはできません。現在、私たち夫婦は健在ですが、何十年後かには必ず死期を迎えます。気がかりなのは、私たちがいなくなったときのことです。そうしたときに、久人の面倒をだれかが見てくれるとも限りません。

同じ悩みを持つ親の中には、「できることなら、自分よりも一日早く逝ってほしい」と本音をもらす人もいます。親が高齢になればなるほど、そういう思いが出てくるのはやむを得ないことではないでしょうか。

そんな私たちには、共通の願いがあります。同じ障害を持つ人たちが介助員と一緒に共同生活を送る場所、いわゆる「グループホーム」の設立です。近い将来、その願いが現実となるよう、親として努力は惜しまないつもりです。


家の仕事を手伝う久人君

生きる力をもらってる

私たちは、久人から生きる力をもらっています。久人は、喜びをとびっきりの笑顔で表現します。その笑顔を見ると、どこからともなく力がわいてきます。

私たちも、できるだけ笑顔で前向きに生きていこうと思っています。笑顔の向こうに、明日の希望（ひかり）が見える、そんな気がするからです。

久人——私たちの誇りです。

みんな、いっしょ。

～わが子のように手を差しのべて～

鮫川たんぽぽの家　主任援助員
白岩八重子

「ハァー、ハァー」と肩ばかりでなく、体全体で息をしながら大根屋敷の治ちゃんが「おはよう」と毎朝一番のりで通所してきます。「鮫川たんぽぽの家」の一日が始まります。

以前、ここは母子健康センターでした。大きなお腹のお母さんもまた、「ハァー、ハァー」と肩で息をしながら、この坂道を登って来たことでしょう。

＊

ちょっとの時間だけ目を閉じて、思い出していただきたいことがあります。この広い世の中で、何かの縁で知り合い、そして寄り添い、結ばれた二人に待望の赤ちゃんが授かり、それを告げられた日。男かなあ、女かなあと思いつつ、少しずつ、少しずつ大きくなるお腹をさすりながら、生まれてくるわが子の誕生を待ちわびたあの日。十カ月もの間、不安と期待の中でようやくわが子の産声を聞いた日。おっかなびっくりお風呂に入れた日…。

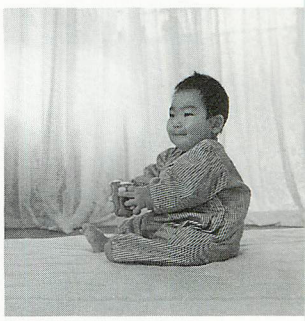
こうして、まだ見ぬわが子への思いと、生まれてからの健康を願わなかった親はだれもいないはずです。過ぎゆく時間は早くても、どんなに時代は変わっても、人のやさしさと温かい心は、変わることはないと信じています。

＊

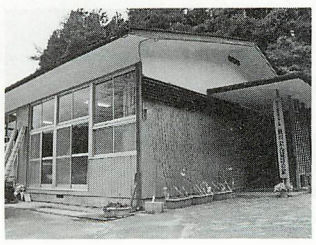
ここ「鮫川たんぽぽの家」に通所してくる彼らもまた、同じ思いの両親のもとに生まれ、はぐくまれてきました。ちょっと昔は障害があるだけで、日当たりが悪かったときもあったでしょう。

でも、今は違います。みんな一緒に地域で暮らし、みんな一緒に社会参加をし、まんべんなく照らす太陽の下で生まれ持ったキャラクターを生かし、堂々と自分に合った、自分らしい人生を送ることができます。ただ、それには少々助けてほしいときもあるでしょうし、泣きたいときもあるでしょう。また、訳が分からなくなるときもあるでしょう。

そのときには、知的障害という重荷を背負った彼らに、どうか皆様方の温かな支援の手を差しのべてあげてください。わが子の涙をそっと拭いてあげたように、わが子をギュッと抱きしめたように…。



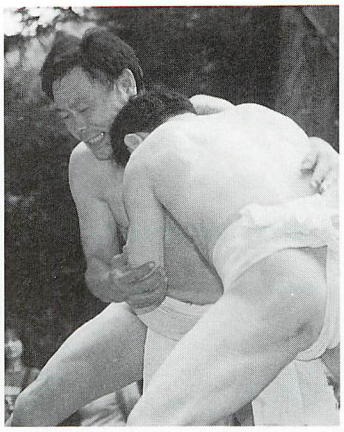
Essay



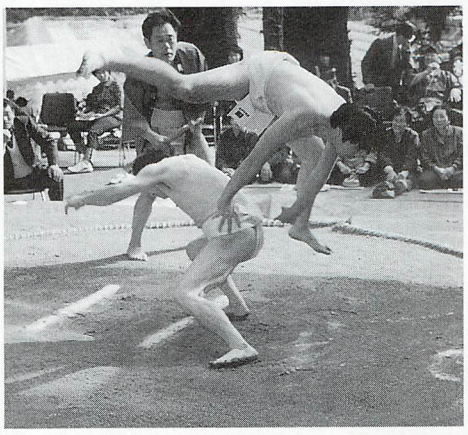
社会福祉法人甲子の里福祉会
甲子の里希望の家分場
鮫川たんぽぽの家
鮫川村大字赤坂中野字新宿182
☎0247-49-2022


みんな一緒に地域で暮らし、
みんな一緒に生きていく。





力と力の勝負



ユニークな初切相撲



にぎやかな声が響いた熊野神社境内



本格的な弓取式



鎮守の森に、歓声響く。

赤坂西野区ふるさと相撲大会

10月7日、赤坂西野区秋季祭礼。
熊野神社境内では、
恒例の「ふるさと相撲大会」が催された。
稲穂が黄金色に色づくこの時期、
地元の若者がまわしをつけて、年に一度だけ力士に変わる。
はっけよい、はっけよい……
いつもは静かな鎮守の森に、この日ばかりは歓声がこだまする。

大相撲顔負けの迫力のある取組





応援にも熱が入る



チビッ子力士も大活躍

PHOTO

むらのできごと

広報にあなたの写真が載りましたら、さしあげますのでご連絡ください。
（☎49－3111　内線214）



秋空の下、４７００人がバーベキューを楽しみました

食べて、歌って、踊って、笑った。

高原の鮫川うまいもの祭り

さわやかな秋晴れとなった10月21日、第14回高原の鮫川うまいもの祭りが鹿角平観光牧場で開かれ、家族連れや職場のグループなど約4,700人が「食欲の秋」を満喫しました。

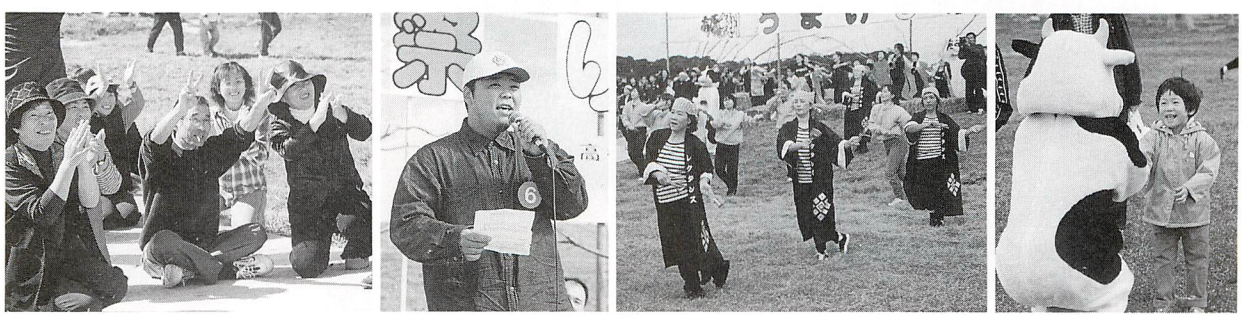
鮫川牛のバーベキューをメーンに、村の特産品をＰＲするこのイベント。地酒や牛乳の試飲のほか、新鮮野菜などの地場産品が販売され、人気を集めていました。

特設ステージでは、高橋佳生さんのライブ、高原ＹＯＳＡＫＯＩオンステージ、干し草のステージ歌合戦など多彩な催しが行われ、思い思いに秋の一日を楽しみました。

この日は、佐藤知事が来賓として訪れ、鮫川の「うまいもの」に舌鼓を打っていました。



鮫川産の牛肉を味わう佐藤知事（左）



さまざまなイベントを楽しむ参加者たち。会場いっぱいに笑顔の花が咲きました



いつもの散歩とちょっと違うゾ

自然の中は気持ちいい

ほっとはうすの散歩コース

この秋、ほっとはうす・さめがわ周辺の散歩コースが人気です。

雑木林や草原の中を歩く約２キロの散歩道は、自然を満喫したい人に打って付けのコースです。９月から10月にかけて、保育所や幼稚園、小学校などでも利用しました。

写真は、鮫川保育所の子どもたちですが、いつもの散歩とは違った雰囲気で、気持ちよさそうに自然に親しんでいました。

皆さんも、ぜひご利用ください。

さらなる発展を願う

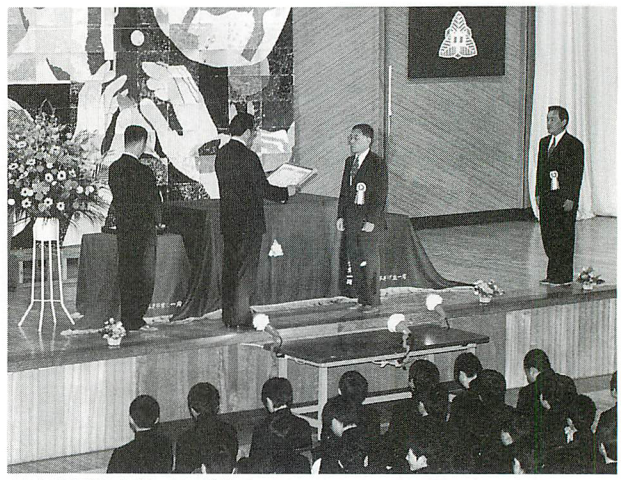
鮫川中統合30周年記念式典

鮫川中学校統合三十周年記念式典は十月二十七日、同校体育館で行われ、三十年の節目を祝い、さらなる発展を願いました。

同校は、昭和四十三年四月に渡瀬中と統合。昭和四十五年四月に青生野中が統合し、翌年一月に現在の校舎が完成しました。

式では、記念事業実行委員長（ＰＴＡ会長）の鈴木良一さんが式辞を述べ、小澤章雄校長があいさつ。芳賀村長の祝辞に続き、歴代校長・ＰＴＡ会長に感謝状が贈られました。また、生徒会長の大河内正紀君が誓いの言葉を述べ、出席者全員で校歌を斉唱しました。

式終了後、同校合唱部と応援団によるアトラクションが披露されました。



統合30周年を祝った式典

村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす



戦没者のめい福を祈る

９月21日、戦没者追悼式を村公民館で開催しました。遺族や来賓など約100人が出席。芳賀村長の式辞に続き、藤田村議会議長と遺族代表の遠藤稲穂さん（赤坂東野字滝ノ下）が追悼の言葉を述べ、240余柱のめい福を祈りました。



村営住宅「見渡団地」着工

村営住宅「見渡団地」建設工事の安全祈願祭は10月11日、赤坂西野字茅地内の現地で行われました。赤坂西野区長、工事関係者、村関係者などが出席。玉串をささげて工事中の無事故を祈願しました。〔昨年度に続き２棟（４戸）を建設〕

みんなのページ

PAGES FOR EVERYBODY

村民の皆さんが作るページです。
村づくりに関する意見、質問、提案(アイディア)
感激した話、ほほえましい話など……
ハガキや封書、ファックスでお寄せください。
ただし、中傷や営利を目的としたものは
ご遠慮ください。
「テーマにひとこと」も下記のあて先へ。

●

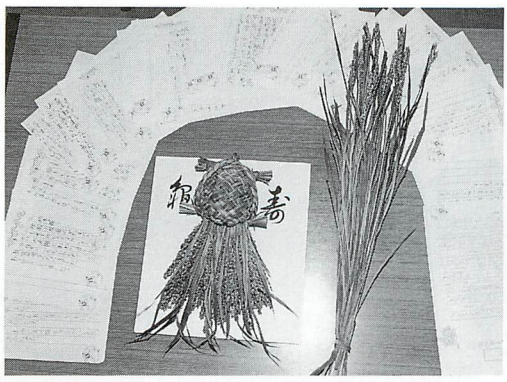
〒963-8401　大字赤坂中野字新宿39-5
鮫川村役場「広報さめがわ」みんなのページ行
☎49－3111（内線214）　FAX 49－2651

お便り

未来博から生まれた新たな交流

うつくしま未来博は九月三十日に閉幕しましたが、この博覧会がきっかけとなり、新たな交流が生まれました。

村では、亀宝会の皆さんの協力を得て、九十市町村ふれあいパークにわら細工のコーナーを設けました。その際に「寿亀」（亀の飾り物）の製作に必要な「紫大黒」という古代米の稲わらが不足したため、インターネットを通じて情報を検索。徳島県三加茂町の三庄小学校で作付けしていることがわかり、稲わらを提供していただきました。



「寿亀」と紫大黒の稲わらを囲む33人の児童からのお便り

そのお礼に「寿亀」をお送りしたところ、担任の園尾先生と五年生三十三人からお便りが届きました。ここに紹介するのは、園尾先生からのお便りです。

■

このたびは「寿亀」をお送りいただき、ありがとうございました。ダンボールを開けたときは、ほんとうに驚きました。子どもたちが育てた「紫大黒」が素晴らしい亀に変身し、皆様のお役に立ててうれしく思います。

子どもたちに「寿亀」を見せたら「すごいなあ」「きれいにできとるな」とびっくりしていました。教室、校長室にも飾りました。また、古代米のお世話をしてくださった町役場、田んぼをお借りしている方にも差し上げ、喜んでいただきました。

子どもたちは、古代米のわらで「わらぞうり」を編もうと計画しているため、「寿亀」の素晴らしい出来栄えに大変感動したようでした。

古代米によって、このようなつながりができたことを本当にうれしく思います。

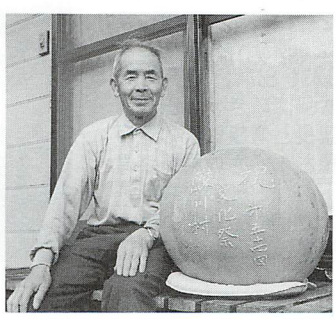
皆様のご健勝と鮫川村のますますのご発展をお祈り申し上げます。

三庄小学校　園尾淑子
（一部省略）

わだい

【カボチャの芸術】

矢吹一男さんの自信作



写真は、赤坂西野字大塩の矢吹一男さん（七十一歳）が育てたカボチャです。よく見ると、表面に「祝　第五十四回文化祭　鮫川村」の文字が浮かび上がっています。八月上旬に釘でキズをつけて文字を書き、九月二十日ごろに収穫したというこのカボチャ。文字を書く時期が難しいとのことですが、「今年の出来栄えは最高だよ」と、とても満足そうな矢吹さんです。

みんなの伝言板
MESSAGE BOARD

募集

■精神保健福祉ボランティア講座
主催…県南保健所／**日時**…①12月11日（火）13:30～15:50、②12月14日（金）13:30～15:30、③12月18日（火）13:30～15:30／**対象**…精神障害者の支援などのボランティア活動を希望する方。原則として3日間受講できる方／**募集期間**…12月7日（金）まで／◎**詳細**…県南保健所健康企画課☎0248-22-5441

催し

■【ドリームタイム】へのいざない
オーストラリア・アボリジニの美術
オーストラリアの先住民族アボリジニ。文字を持たない独自の文化が生み出した「ドリーミング」の伝統を受け継ぐ絵画を中心に約110作品を公開／**期間**…12月16日（日）まで／**場所**…いわき市立美術館／**観覧料**…一般940円、高・大学生520円、小・中学生210円／◎**詳細**…いわき市立美術館☎0246-25-1111

■県文化財センター白河館 特別展
復元！ 三角縁神獣鏡
「卑弥呼の鏡」の有力候補の一つとされる三角縁神獣鏡。東北地方では会津大塚山古墳から1面だけ出土しています。そして、この鏡と同じ形の鏡が岡山県の古墳からも出土していました。これらの鏡、いったいどのようにして作られたのでしょう／**期間**…12月2日（日）まで／**場所**…福島県文化財センター白河館「まほろん」／**入場料**…無料／◎**詳細**…まほろん☎0248-21-0700

お願い

■犯罪捜査にご協力を
近年、暴行・傷害事件や路上強盗など、身近に脅威を感じる犯罪が多発しているほか、無差別殺傷事件などの凶悪事件が増加し、犯罪情勢は厳しさを増しています。事件を早期に解決するため、次の点を中心に皆さんのご協力をお願いします。／指名手配被疑者の検挙にご協力を／「事件かな」と思ったら迷わず110番を／犯罪について知っていることは積極的に通報を／聞き込み捜査にご協力を／被害にあったときは必ず届け出を／◎**詳細**…棚倉警察署☎0247-33-3241

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集します。総務課総務係（広報担当）までご連絡ください。



スマイル・すまいる・スマイル・すまいる・スマイル・すまいる・スマイル

テーマにひとこと

今月のテーマ／嫁の言い分

▼若いころは言いたいことがいっぱいあって、姑に言えずに夫によく話したものでした。今では姑の言うことも理解できるし、いやなことがあっても、どうせ言ってみてもカドが立つだけ…と思えるようになりました。それは、お互いにそう思っていることだとも思います。一緒に過ごす時間が長くなればなるほど情もわいてきて、愛せるようになりました。
（P.N. 素直になった嫁）

＊

▼うちの姑はお母さんというより、もう八十歳を過ぎているのでおばあちゃんと呼んでいます。もうだいぶ痴ほうが進み、なんとかこれ以上進行しないようにと願っています。でも、入れ歯をはずして遊んだり、痰を「ペっぺっ」と出さないでほしいです。しかし、いくら言ってももう無理かなって、最近は思っています。
（匿名）

＊

▼嫁の言い分というのは、夫や姑に対する不満や文句ということでしょうか。でしたら、そんなのありませんよ。夫もお母さんも優しいし、お父さんだってとても親切。この家に嫁に来て本当によかったって思っています。私の言うことはきちんと聞いてくれるし、私もみんなの話を聞くようにしています。同じ屋根の下で生活していれば、それぞれの主張があるのは当然ですし、自分の意見を主張することも、ときには必要なのかなとも思います。
（匿名）

次号は「**2001年を振り返る**」をテーマに、あなたのひとことを募集します。**11月30日（金）**が締め切りです。

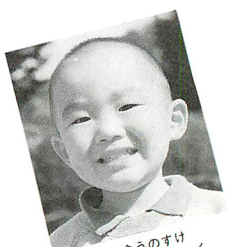


むしばのないこ

10月15日・3歳児健診
受診児5人中2人
（40%）



須藤 康太（こうた）くん
赤坂西野字茅



青戸悠之介（ゆうのすけ）くん
富田字前沼

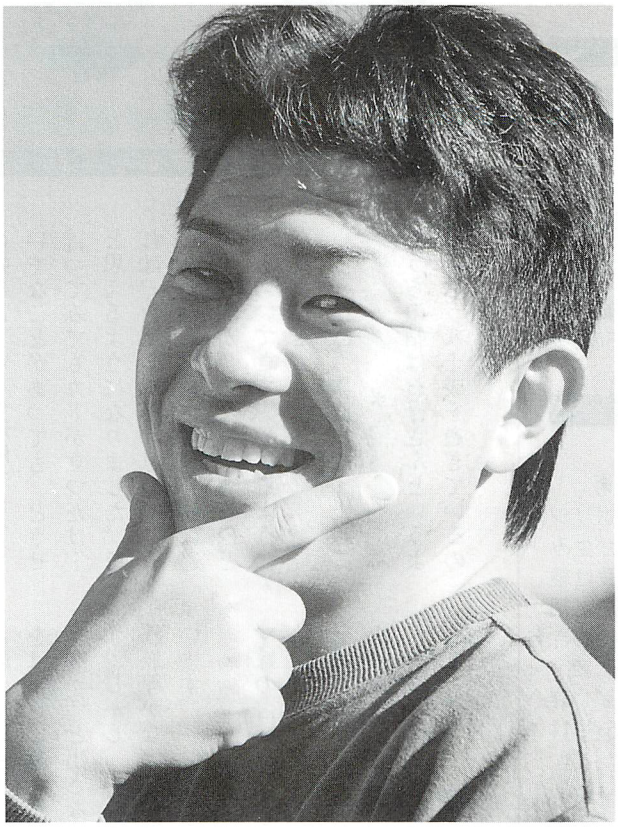
次の3歳児健診は1月15日（火）。対象は平成10年9月～11月生まれのお子さんです。

随想 村民リレー 42人目

森 義剛さん

Yoshitake Mori

大字赤坂東野字遠ケ竜在住



■義剛さんってこんな人！

もり・よしたけ／昭和45年１月生まれ。趣味はスキー。「ゲレンデが俺を待っている」と、冬の到来が待ち遠しい様子。「ただ今、お嫁さん募集中で～す」と笑顔で話す、おちゃめな31歳（本人談）です。

自然と仕事&こだわりのない俺

昼間は木々の紅葉、夜空には星が奇麗に見える。いいですよね、自然は。同じ場所を見ていても、季節によって彩りを変えるから…。

だから仕事も、木を使う大工。いや違う。確かに中学時代は親父が大工だから、それがいいと思った。高校を卒業していざ就職。大工じゃなくて会社を選んだ。毎月の給料、ボーナス、休日…。これだけでも最高と思った。でも、会社勤めは五年でやめた。仕事は慣れたが、自分の性格に合わなかった。

それから、自分の趣味でもある自動車整備の仕事をして、そろそろ資格をと思っていた矢先、親父の手伝いをしなければならない出来事が起きてしまった。それがきっかけで大工を始めた。しかし、ここ数年の不景気で大工仕事が減ったとき、今の親方に出会った。林業の仕事だ。仕事場は当然、自然の中。

別に一つの仕事にこだわらなくてもいいと思う。今、不景気で会社だって不安定だし、だれだって人並みに生活したい。自分も同じ。だから、いろんな仕事をしても、使ってくれる人に迷惑をかけないよう、頑張って取り組んでいきたいと思う。

〔次は、高坂めぐみさん（赤坂西野）にバトンタッチ！〕

俳句

鮫川の水もゆうゆう霜の花　中井　恒峯

吊橋にからみ引き合う葛の花　金沢　暁舟

秋桜咲く道だからまっすぐ行く　山本　朗史

ピラカンサ実の輝いて遠家並　矢部　正子

天高く地は黄金の秋の風　鈴木　友蔵

ふるさとへ戻る鮭等のまなこの潤み　斎須　信子

稲穂見て日々の手入れの報わる　北條素人坂

刈稲に初霜おりて白くなり　小山田清哲

我が歩み遅々と進まず秋の蜂　黒田　寿香

暮れ残る秋明菊の一たむろ　山本五十鈴

短歌

旧家故家訓を守るか自民党批判はすれど主権者の目は　松本　一郎

稔り田の上を飛び交う赤蜻蛉青刈り稲束に蝗が跳ねる　鈴木　クニ

機械化にはぜ架け資材物置に架け場作りの想い出と積む　北條　平

玄関の前に咲き初む秋明菊真白き花にしばし足止めて見る　水野　フク

腰曲げて杖つき歩むわが姿ガラス戸に映る何か侘びしも　岡部　シゲ

明日があるさと云う歌は近頃ど

図書の缶詰

鮫川村図書館　☎29－1150

今月のおすすめ



■**ちのはなし**（文・絵／堀内誠一、福音館書店）…絵がまずモノをいう絵本です。やさしい実験もあって、血と生命の大切さが実感できます。



■**ハリー・ポッターとアズカバンの囚人**（J．K．ローリング作、松岡佑子訳、静山社）…ハリー・ポッターシリーズの第３巻。魔法使いの卵のみなし子ハリー。ハリーの命をねらうアズカバンから脱走した囚人との対決は？（第１巻・第２巻もそろえてあります）

図書館は、午前９時から午後６時まで開いています。

12月の休館日

SAMEGAWA LIBRALY

確認してからでかけてね。

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	・	・	1
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23	㉔	㉕	26	27	㉘	㉙
㉚	㉛	・	・	・	・	・

○印が休館日です。

HUMAN ずーむあっぷ 人

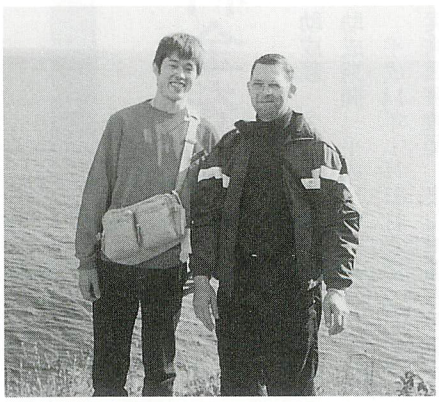
県農業経営者海外派遣研修に参加した

芳賀省三さん

自分の農業に生かしたい

西山字鍛治平の芳賀省三さん（二十一歳）は九月十日から二十一日までの十二日間、福島県農業経営者海外派遣研修に参加し、ヨーロッパの農業事情を視察しました。

今回は、研修を終えた芳賀さんの体験記を紹介します。



ホームステイ先のハーネスさん（右）と一緒に

◆　◆

私は、農業経営者海外派遣研修団の一員として、オランダ、デンマーク、スイス、ドイツの四カ国を訪問してきました。

デンマークでは、人工授精師をしているハーネスさんという夫婦二人の家にホームステイしました。言葉が分からなくて大変でしたが、辞書で調べながらも何とか話を伝えることができ、とても親切にしていただきました。

オランダでは、世界最大規模のアールスメール生花市場を見学。市場にはいろいろな花が集まり、業者の人たちが買いたい花を見ますが、その場で競りが始まるのではなく、商品番号や生産者名を覚えておき、別部屋でコンピューターにより時計盤に表示されるのを見て競りを行います。日本と違い、規模がとても大きいと実感しました。

また、農業経営の方法や規模が日本とは違うのが分かりました。農業をやりたい人は、やらない人から農地を借りて耕作しています。ドイツでは、マイスターという資格制度があり、資格がないと自分で作物の販売ができません。マイスターになるには職業教育学校で実習が六年、学科で二年もかかり、ようやく自分が生産した作物を販売する店が持てるようになります。

今回の研修は、私にとって大変有意義なものでした。これらの経験をこれからの自分の農業に生かしていきたいと思います。

う考えたって耳障りなる　前田　栄美

夢多く君と語りし日は杳く胸深く秘め古希もはや過ぐ　前田喜三子

靖国の首相参拝に二分せし世論の後に何残したる　叭

色を変え形をかえて秋空を雲は流るる意志ある如く　大平　太平

テロ行為航空機になすガソリンの威力爆弾を遥かに凌ぎて　蛭田　浩市

わが庭に生ゆ「カブシメジ」を見て友は山は零よと淋しく帰る　蛭田　光江

姉弟にて晴れの一日を未来博一生一度の思い出にのこす　坂本　雪絵

実現は簡単ならず常の日は予定ばかりの空回りして　前田　初

高齢に至れど呆けたくはなし希いを込めてウォーキングに　鷺野谷　満

敬老会に長生きしてねの孫の声嬉しいような淋しいような　増子　紗久

そうめんの滝の岩間にひそと咲く白き花の名図鑑にさがす　森　芳子

孝行の出来ざる日あり墓に来て母を偲べば白苔の花　中川西美好

幼頃の影残りいて古稀過ぎの級友会に話題は尽きず　関根　瑞恵

山峡を震わせながら落つる滝岩をも折りに揺るがせており　関根　米子

いきいき生活、応援します。

く・ら・し・の情報

Information

電話番号

市外局番（０２４７）

役場	☎ 49 - 3111㈹
	FAX 49 - 2651
教育委員会 教育課	☎ 49 - 3151
	☎ 49 - 2247
図書館	☎ 29 - 1150
公民館	☎ 49 - 2247
農業者トレーニングセンター	☎ 49 - 3295
鮫川幼稚園	☎ 49 - 2358
学校給食センター	☎ 49 - 2113
鮫川保育所	☎ 49 - 2056
渡瀬保育所	☎ 48 - 2050
国民健康保険診療所	☎ 49 - 2028
交流施設 ほっとはうす・さめがわ	☎ 48 - 2555
高齢者総合福祉センター ひだまり荘	☎ 49 - 3600
村民保養施設 さぎり荘	☎ 49 - 2205

保健

インフルエンザ予防接種
高齢者の接種料金を助成

インフルエンザは、通常の風邪とは異なり、高熱、全身症状とともに咳や鼻水などの呼吸器症状が現われ、特に高齢者がかかると肺炎などを起こし、重症になりやすい病気です。

このたび、予防接種法の一部が改正され、インフルエンザが予防接種の対象になりました。それに伴い、村では接種を希望する高齢者を対象に、料金の一部を助成することにしました。

助成対象者　65歳以上の村民

助成額　2千円（1人1回のみ）

助成期間　平成13年12月20日～平成14年1月31日まで

実施医療機関　東白川郡内のかかりつけ医とし、予約が必要です。郡外のかかりつけ医で接種を希望される方は、事前に村健康福祉課までご連絡ください。なお、医療機関により料金が異なりますので、あらかじめご確認ください。

■問い合わせ　村健康福祉課健康係☎２３７

今年１月から２月にかけての記録的な低温により発生した舗装路面の異常なヒビ割れを復旧するため、県および村では、村内の国道、県道、村道の数カ所で、道路舗装復旧工事を実施しています。

工事期間中は、通行規制などで地域の皆様や通行中の皆様にご迷惑をおかけすることもありますが、ご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ　県棚倉土木事務所 ☎33-3131、村建設課建設係☎内線254

道路復旧工事に伴う通行規制にご協力を

お願い

年金

保険料の納め忘れをなくしましょう

国民年金の保険料は、20歳から60歳になるまでの40年間納めます。

納め忘れなどにより保険料を未納のままにしておくと、年金を受けるために必要な納付期間が不足し、将来年金が受けられなくなったり、受け取る年金額が少なくなるばかりではありません。万が一、障害者になったときに支給される「障害基礎年金」や一家の主人が亡くなったときに支給される「遺族基礎年金」が受けられなくなることもあります。

現在、国民年金の保険料は1カ月13、300円です。今まで納めた保険料を無駄にしないためにも、納付期限までに忘れずに納めましょう。

保険料の「申請免除」

国民年金には、保険料の免除制度があります。

病気やケガに見舞われたり、失業などのやむを得ない理由で収入が少なくなり、保険料を納めるのが困難な場合、申請して免除基準に該当すれば、保険料の「申請免除」を受けることができます。

■問い合わせ　村住民課国保年金係☎内線２３４

独身男女集まれ！
クリスマスパーティー 参加者大募集

■主　催　県南地区青年交流実行委員会
■と　き　12月９日(日)午後６時
■ところ　新富家（棚倉町）
■対　象　独身男女（男性は鮫川村、棚倉町、表郷村、東村、浅川町の住民。女性は世界中のどなたでもＯＫ）
■参加費　１人　2,000円
■募集期間　12月３日(月)まで

申し込み・問い合わせ
事務局（棚倉町商工観光課内）☎0247-33-2111
または実行委員・関根（村農業委員会事務局内）
☎0247-49-3111、内線245

空き家 探しています

村では、約10年前から定住促進事業により移住希望者に対する空き家の賃貸あっせんを行っています。

皆様のご協力により、これまでに13家族が移住し、村内で生活されています。

現在も、首都圏を中心に移住希望者からの問い合わせが多いことから、村内にある空き家を把握することにしました。皆様からの情報をお待ちしています。

◎連絡先
村企画調整課企画振興係
☎内線２２１

募集

自衛隊生徒(中卒)

■**対象**　中学校卒業（見込み者を含む）17歳未満の男子
■**受付期間**　平成13年11月５日～平成14年１月４日
■**試験日**　第１次…平成14年１月６日、第２次…平成14年１月19～22日
■**入校**　平成14年４月上旬
■**修学年限**　４年（卒業時３等陸・海・空曹）

問い合わせ
自衛隊白河募集事務所
☎0248－24－0372

広域行政を考えませんか
福島県からのお知らせ

県では、市町村や地域住民自らが、広域行政の有効性などについて検討することを支援するため、出前講座や相談コーナーを設けています。積極的にご利用ください。

■広域行政出前講座
広域行政に関する勉強会や検討会に職員を派遣し、広域連合や市町村合併の説明や情報の提供を行います。

■広域行政相談コーナー
市町村や地域住民が広域行政に取り組む際の身近な相談窓口です。

問い合わせ
県南地方広域行政相談コーナー
県南地方振興局内　☎0248-23-1506

行政

学校給食センター 業務の一部を委託します

村では、鮫川村行財政改革大綱（平成８年制定）および鮫川村定員管理適正化計画（平成12年制定）に基づき、民間の活力を取り入れ、経済性・能率性を高めると同時に、行政事務の合理化を図るため、平成14年度から学校給食センター業務の一部を委託することにしました。

業務委託に当たっては、村内の人材を優先雇用することを条件としますので、勤務などに関することは委託先にお問い合わせください。

委託先　株式会社メフォス・福島第三事業部（白河市新白河３－１４１、☎０２４８－３１－１５００）

■問い合わせ　村学校給食センター☎４９－２１１３

農業委員会から

農地の転用には許可が必要です

農地を農地でなくすこと、すなわち、住宅・畜舎・工場用地、道路、山林などの用地に転換することを「農地転用」といい、転用するには許可が必要です。

対象となる農地　すべての農地が許可の対象となります。地目が農地であれば、耕作されていなくても農地として活用できる状態である限り農地として扱われます。また、地目が農地でなくても、肥培管理がされていれば農地と見なされます。さらに、農地を一時的な資材置場、砂利採取場などとして利用する場合も転用になり、許可が必要です。

農業振興地域からの除外
農地転用をする場合、先に農業振興地域内農用地区域から除外しなければなりません。除外するには、申請書（村農林課にあります）、計画書などが必要になります。

媒酌人に奨励金を支給しています

村では、後継者の結婚を仲介した媒酌人に対し、媒酌人奨励金を支給しています。

支給対象　婚姻後も引き続き村内に住む後継者の配偶者を媒酌した場合

支給額　▼村内から配偶者を媒酌したとき…２万円▼村外から配偶者を媒酌したとき…３万円

手続き　奨励金の支給を受ける場合、交付申請書を提出してください。

■問い合わせ　村農業委員会事務局☎内線２４５

ご協力ありがとうございました

愛の献血

実施日…10月12日（金）／**場所**…㈱田中ニット鮫川工場下、農業者トレーニングセンター前、役場前／**協力者**…下記のとおり（敬称略）

200mℓ

青戸良一（前沼）石井智子（酒垂）生方小寿枝（棚倉町）鷲野谷弘行（二反田）塩田幸子（広畑）白坂あき子（楢久保）白坂澄江（茅）鈴木真理子（大塩）関根麗香（余所内）高坂めぐみ（中）田子久子（真坂）早川桐子（広畑）芳賀清子（江竜田）蛭田里美（滝ノ下）蛭田美樹子（関口）曲山寿江（石川町）増谷隆夫（荻ノ沢）水野亮達（沼野沢）湯坐清（新宿）湯座セキ子（道少田）吉田節子（楢久保）吉田美香（大房）

400mℓ

阿久津正幸（折戸）石井洋平（酒垂）遠藤浩二（郡山市）小山田一成（反田）金澤広一（大塩）菅野久貴（福島市）近藤保弘（新宿）三瓶ゆり子（戸草）鈴木初枝（新宿）高木正則（新宿）高坂修一（浅屋敷）田子勉（官代）圓井正男（取上）生田目京子（辺栗）芳賀真一（福原）早川正博（広畑）藤田洋美（広畑）緑川好之（取上）森キイ子（遠ケ竜）矢吹照子（塩倉）我妻久子（落合）我妻正紀（落合）

成分

斎須寛一（新宿）佐藤博（遠ケ竜）芳賀正人（上）矢吹かおり（岨長）渡部由佳（宿ノ入）

保育所

平成14年度入所児童募集

平成14年4月から保育所に入所を希望する児童の申し込みを、次により受け付けています。

保育所の概要

①鮫川保育所　▼所在地…赤坂中野字新宿129▼定員…90人▼対象児童…おおむね2歳から就学前の児童▼開所時間…午前7時～午後6時30分

②渡瀬保育所　▼所在地…渡瀬字中野町113▼定員…45人▼対象児童…乳児（6カ月以上）から就学前の児童▼開所時間…午前7時30分～午後5時30分

受付期間　11月30日（金）まで

受付場所　役場健康福祉課福祉係または各保育所

手続きに必要なもの　▼保育所入所申込書（健康福祉課および保育所にあります）▼印鑑▼同居する家族の氏名・生年月日がわかるもの▼母親の就労状況を証明する書類（勤務、内職をしている方は事業所の証明。自営業・農業などの方は地区民生委員の証明）

入所基準　児童の保護者が次のいずれかに該当し、家庭内で保育ができない場合…▼日中に家庭外で仕事をしている場合▼日中に家庭内で家事以外の仕事をしている場合▼母親がいない場合▼母親が出産や病人、障害者などの場合▼病人や障害者などの看護をしている場合▼家庭が災害にあった場合

その他　平成13年度から引き続き入所を希望する場合、申込書の提出は必要ありません。

■問い合わせ　村健康福祉課福祉係☎内線236

税金

個人事業税第2期分 11月30日が納期限です

個人事業税は、個人で事業を行っている方に課税される税金です。県南地方振興局から送付される納税通知書により、最寄りの金融機関で納期限までに納めてください。

今回（第2期分）は、税額が1万円以上の方に納税通知書が送付され、納期限は11月30日（金）です。

■問い合わせ　県南地方振興局県税部☎0248-23-1517

村税完納推進運動 各種納税にご協力を

村では、12月1日から1月31日までの2カ月間、村税完納推進運動を展開します。

各種村税に未納がある方は、この期間中に納付くださるよう、ご協力をお願いします。

■問い合わせ　村総務課税務係☎内線217

相談

■心配ごと相談

▼日時…12月20日（木）午前10時～午後3時（午後1時からは、弁護士が相談を受けます）▼**場所**…村公民館◎**詳細**…村社会福祉協議会☎49-3600

■身体障害者巡回相談

▼期日…12月17日（月）▼**場所**…郡山市身体障害者福祉センター▼**対象**…肢体不自由者▼相談希望者は村健康福祉課に事前連絡が必要です。◎**詳細**…村健康福祉課福祉係☎内線236

納付

▼固定資産税＝第4期分
▼国民健康保険税＝第6期分
▼介護保険料＝第6期分
▼国民年金保険料＝11月分
◎**納期限**…11月30日（金）
※納期内に納めましょう。口座振替の方は、残高確認をお願いします。

寄付

▼**社会福祉事業のために**（金員）…藤田弘海（酒垂）▼**ひだまり荘に**（タオル30本）…中野長生会（水野成男会長）▼**ふくしま駅伝村選手団への激励金**…福島カツ子（神奈川県横浜市）

※**9月21日～10月20日受理分**
敬称略

休日当番日

11月23日（金）	
藤田医院（棚倉町）	☎33-2013
中島医院（塙町）	☎43-0373
大野病院（石川町）	☎26-1181
11月25日（日）	
あらまちクリニック（棚倉町）	☎33-8018
木村医院（矢祭町）	☎46-3528
富永医院（浅川町）	☎36-2027
12月2日（日）	
緑が丘診療所（棚倉町）	☎33-9468
中島医院（塙町）	☎43-0373
石川中央医院（石川町）	☎26-2024
12月9日（日）	
杉山胃腸科外科皮膚科（棚倉町）	☎33-7551
石川医院（塙町）	☎43-0003
やまもと内科クリニック（石川町）	☎26-8311
12月16日（日）	
和田医院（棚倉町）	☎33-2012
金沢医院（矢祭町）	☎46-2312
中島病院（石川町）	☎26-3415
12月23日（日）	
勝田医院（棚倉町）	☎33-3008
東舘診療所（矢祭町）	☎46-3165
中島病院（石川町）	☎26-3415
12月24日（月）	
大木医院（棚倉町）	☎33-2424
塙厚生病院（塙町）	☎43-1145
大野病院（石川町）	☎26-1181

ごみ収集日

— 12月 —

■江竜田～中野町～福原～鍬木田～広畑～新宿～道少田～大塩
- 可燃物…3.6.10.13.17.20.27.30
- 不燃物…14.28

■さぎり荘～村営住宅赤坂中野団地
- 可燃物…3.6.10.13.17.20.27.30
- 不燃物…12.26

■鮫川中学校
- 可燃物…3.6.10.13.17.20.27.30
- 不燃物…13.27

■関下～越虫～青生野小～世々麦～葉貫～戸草～蕨ノ草～中沢～関口
- 可燃物…5.12.19.26.29
- 不燃物…12.26

■真坂～押目～酒垂～塚本～荻ノ沢～折戸～水口～官沢
- 可燃物…5.12.19.26.29
- 不燃物…13.27

■官代～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜
- 可燃物…5.12.19.26.29
- 不燃物…14.28

■東前田～大久保～鬼越～赤柴～沼野沢～岩野草～薄ケ久保～石井草
- 可燃物…5.12.19.26.29
- 不燃物…21

※ペットボトル用指定袋は、不燃物と同じ日に収集します。

保健婦の
健康アドバイス
ADVICE



保健婦の蛭田みゆきです

若々しく年を重ねる

皆さんの周りには、実際の年齢よりもはるかに若く見える人はいませんか。実は、人にはさまざまな年齢があるそうです。

①生活年齢

これは暦年齢とも言われ、生年月日に基づいた、誰でもすぐに答えられる年齢のことです。

②身体年齢

これは体力年齢とも言われ、生活年齢に関係なく、身体の鍛え方によって個人差が出てくる年齢のことです。体力測定などによって得られた数値から、現時点での身体能力が何歳くらいなのかを求めます。よく体を動かしている人は、身体年齢は生活年齢よりも若くなります。また、タバコを吸う人は、特に持久力が生活年齢に比べ劣ります。

③心理年齢

これは精神年齢とも言われ、その人の心や気持ちの若さを表すものです。気持ちが前向きで好奇心が旺盛だったり、新しい物事にも積極的に挑戦しようとする人は、心理年齢が若い人です。心理年齢が高齢になってくると、頑固、疑り深い、愚痴をこぼすといった傾向がみられると言われています。

④内臓年齢

あまり聞き慣れない言葉ですが、文字どおり内臓の機能が何歳くらいなのかを表すもので、健康診査や人間ドックの検査値から割り出すことができるそうです。内臓の老化に最もかかわりのある動脈硬化に関連のある検査項目（血液検査や肝機能検査など）の正常値と実際の値を比較して計算します。内臓年齢の高い人は、生活習慣病予備群とも言えます。健康診査や人間ドッグの結果を活用し、内臓年齢の若さを保っていただきたいと思います。

＊

人は毎年確実に年をとっていきます。生活年齢は誰にも止められません。しかし、その他の年齢については、個人個人の意識や努力しだいで加齢を遅らせたり、若返らせたりすることもできます。健康な身体と心、そして内臓で、若々しく年を重ねていきましょう。

■このコーナーでは、質問や取り上げてほしいテーマなどを募集しています。広報担当または保健婦までご連絡ください。



今月の表紙PHOTO

赤坂西野字岡田の舟木久人君（写真右）は知的と身体の重複障害を持っていますが、父・久さん（写真左）の大事な右腕となり、酪農の仕事を手伝います。「とても頼りになる息子です」と久さん。（関連記事8・9ページ）

お誕生

9月21日～10月20日届け出分



関根（せきね）　清也（しんや）
平13.10. 2
住所／水口
保護者／清



圓井（つむらい）　経佑（けいすけ）
平13.10.12生
住所／広畑
保護者／利幸

おくやみ

9月21日～10月20日届け出分

住所	氏名	月日	年齢
酒垂	藤田　幸弘	10.12	49歳
内ケ竜	中川西イエ	10.17	71歳

人の動き

10月1日現在・（ ）は前月比

人口	4,745人（−10）
男	2,365人（−6）
女	2,380人（−4）
世帯	1,111戸（−4）

※お誕生・おくやみ欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

広報さめがわ
平成13年11月（通巻573号）

■発行／福島県鮫川村
■編集／鮫川村役場総務課
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
☎0247-49-3111／FAX0247-49-2651
■印刷／佐藤印刷所（塙町）

セピア色の思い出 ㉗



昭和22年1月

大久保青年会演芸会記念

提供／矢吹キヨ子さん（大字赤坂西野字大塩・69歳）

昭和22年1月、西山地区の大久保青年会で開催した演芸会での記念撮影です。終戦後の混乱期で何の楽しみもなかったこの時代、演芸は唯一の娯楽であり、人々の沈んだ心をいやしました。私たち青年会員が役者となり劇団を編制。石川町から師匠を招いてお芝居の稽古をしました。演芸会当日は地元の人たちが大勢集まり、素人劇団ながらも大変喜ばれました。（矢吹）

編集後記

▼鮫川たんぽぽの家を取材し、彼らのひたむきな姿に心を打たれました。そして、なぜか自分の嫌な部分が見えてきました。彼らはとても正直です。感情を素直に表現します。心に裏表がありません。▼「自分はこれでいいのか」と考えました。あらゆることに恵まれ、何不自由なく過ごす毎日。心のどこかに「ズルさ」がないかと。▼特集を進めるに当たり、「何も隠すことはありません。むしろ、存在をアピールするべきです」と、快く取材を承諾してくれた保護者会の皆さん、そしてたんぽぽの家の皆さん、本当にありがとうございました。（舟木）